

午前 1 1 時 3 7 分 開議

議長（角谷英男君） ただいまから平成 1 4 年第 2 回泉南市議会定例会継続会を開議いたします。

直ちに本日の会議を開きます。出席議員が法定数に達しておりますので、会議は適法に成立いたしました。

これより日程に入ります。

日程第 1 会議録署名議員の指名を行います。本日の会議録署名議員は、会議規則第 8 0 条の規定により、議長において 1 4 番 南 良徳君、1 5 番 堀口武視君の両君を指名いたします。

次に、日程第 2、前回の議事を継続し、議案第 1 3 号 訴訟の提起についてを議題とし、質疑を行います。（稲留照雄君「議事運営について」と呼ぶ）

稲留君。

1 3 番（稲留照雄君） 1 時間半のロスがありました。私は、代表者会議に入る資格がございませんので傍聴させていただきました。で、各議員の発言によって、これは開く必要がないと。関係常任委員会を開いたらどうかというような御意見がありました。それ以後、何が起こったか、私には全然わかりません。したがって、幾らか議員の皆さんにお聞きしたんですが、皆さん、よくわかりませんということでもあります。

したがって、この 1 時間半のロスがなぜ起こったのか、あるいは、議長あるいは正副議長が理事者側とどんなお話をされたのか、私にわかるように御説明をまずしていただかないと問題に入れないと、私はそう思いますので、よろしく願います。

議長（角谷英男君） それでは、経過説明をさせていただきます。

実は、最初から全部報告させていただきますが、本日………（巴里英一君「議事進行について」と呼ぶ）巴里君。

2 2 番（巴里英一君） 早朝から代表者会議ということで議長が招集されたということで聞き及んでいます。その経過については幹事長から承っております。しかし、それ以後、何の説明もなしにいきなり開会ということになりますと、我々は、その間どうであったのかという事情がわからない

まま入るといことは、審議というのできるのかどうかという問題が一つあります。

もう一点、他にも厚生消防常任委員会云々の問題で、正式には出てないというもののこの場所ですよ。しかし、総務文教はですね、委員会の関係でいろいろ問題点を解決しなきゃならないということもあり得るといふふうにも聞いております。そういったものを放置したまま本会議を開くということになっては、この本会議そのものがいろいろと問題点が起こるのではないかというように私は思考いたします。

その前に、これは本来は出すべき話ではないですが、副議長に、その状況説明だけ各会派の代表者に議長からしてあげてくれて、そして開会してやってくれへんかということをおは御依頼申し上げました。これは、幹事長がおられる西浦さんの会派のところでも申し上げたわけで、それがないまま、副議長も返事がないまま、いきなり開会ということになりましたので、ちょっとその点は疑義を感じて申し上げている次第です。

議長からそういう説明一切、関係ございませんし、もう一点は、やじでありましたが、議会運営委員会においては、本日、2 日間延長してきちっと議事を終えるということをお前提で、先週、議会運営委員会を要請されて開いた。こういった形で議会運営がそのままいきますと、付託された、あるいは提案される議案が全部終了できるということをお前提で議長は開会されるのか。その責任がやっぱりあるのではないか。そういった意味では全議員の了解の中で議事進行するためにも、そういったことをきちっと整理して、そして開会いただきたいというのが私の言い方です。

議長（角谷英男君） 稲留議員からのこの間の説明と報告が欲しいということもあります。同時に、議事運営で巴里議員よりただいま質問がありました。御意見もありました。2 つを考えまして、暫時休憩をし、その中において、議会運営委員会等に話をしたいというふうにお思います。

以上であります。

暫時休憩。

午前 1 1 時 4 1 分 休憩

午後 4 時 3 0 分 流会

会期切れによる自然閉会

(了)

署名議員

大阪府泉南市議会議長 角谷英男

大阪府泉南市議会議員 南良徳

大阪府泉南市議会議員 堀口武視